

ゆめ・まち・みらい

vol.17

阪急阪神ホールディングスグループ社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」情報誌
[2013年春号(年4回発行)]



ぜひご家庭でもお読み下さい

日本の原風景である里山を守り育てるために

ゆめ・まち・みらい インタビュー

C.W.ニコルさん

(作家・環境保護活動家・探検家)

●2013年度 社会貢献活動リスト

●ゆめ・まち基金助成対象団体レポート

「(特非)おとくにパオ」「みのお市民まちなみ会議」

●「ゆめ・まち ええこと 応援団」 支援報告

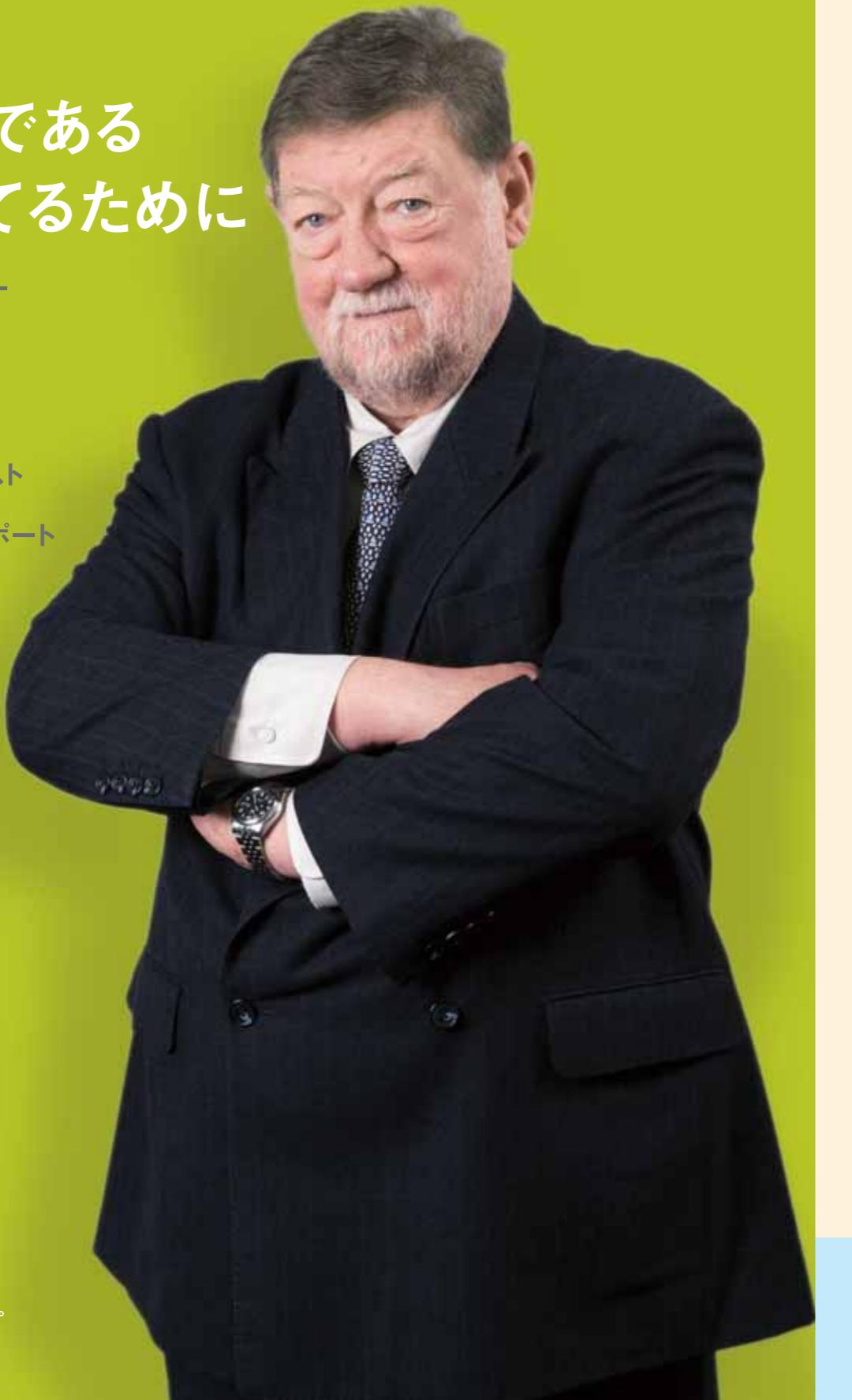
●こちら事務局

「第4回 助成対象団体が決定」「社会貢献ポイント制度
2012年度活動報告」「書き損じハガキの寄付報告」

「阪急阪神 未来のゆめ・まち プロジェクト」とは

2009年よりスタートした、阪急阪神ホールディングスグループの社会貢献プロジェクト。「未来にわたり住みたいまち」づくりを方針に、「地域環境づくり」と「次世代の育成」の分野で、グループ会社や従業員、市民団体の皆さまとの様々な連携を通じて、活動を進めています。

阪急阪神ホールディングス グループ



こちら事務局



阪急阪神 未来のゆめ・まち基金 第4回 助成対象団体が決定しました!

阪急阪神ホールディングスグループの従業員の皆さまの募金と、ホールディングスによる同額上乗せにより、阪急阪神沿線の市民団体に年1回助成しています。第4回の助成先は14団体です。次号以降、紹介していきますので、お楽しみに!

環境づくり

- 尼崎南部グリーンワークス:尼崎南部の工業地域のすき間緑化活動
- (特非)京おとくに・街おこしネットワーク:京都西山地域の活性化
- (特非)京都コミュニティ放送:市民による非営利FM放送運営
- (特非)島本森のクラブ:島本町域の森林・竹林保全活動
- 長岡市ふるさとガイドの会:地域の魅力発信のためのボランティアガイド活動
- (特非)メリーポビンズの会:学校や福祉施設の緑化推進活動
- 六甲山を活用する会:六甲山での環境教育・保全活動

人づくり

- (特非)アレルギーネットワーク京都ぴいちゃんねつ:食物アレルギー患児と家族の闘病支援
- (NPO法人)キッズ＆子育て応援隊MerryTime:子どもの豊かな文化・生活体験の機会づくり
- (特非)Japan Hair Donation & Charity:医療用ウイッグ無償提供活動
- 人と本を紡ぐ会:紙芝居文化の継承・発信活動
- (特非)兵庫県子ども文化振興協会:子どもの豊かな文化・生活体験の機会づくり
- (特非)フリースクールみなも:不登校児の居場所づくり
- (特非)MAMIE:聴覚障がい児の支援活動

※分野別50音順 ※(特非)とは特定非営利活動法人の略



ゆめまち基金参加状況(2012年12月末時点)

参加会社 54社 参加者数 871人



2日間の選考で、各団体の活動に対する熱い想いに心を動かされました。様々な社会問題や、地域が抱える課題に取り組む14団体の活動を、皆さんにも知っていただきたいと思います!
(第4回本選考委員一同)

皆さま積み上げた実績、一挙公開です! 数字で見る 社会貢献ポイント制度 2012年度活動報告

阪急阪神ホールディングスグループの従業員やOBの皆さまの、地域・社会への貢献活動を応援する社会貢献ポイント制度。2012年度は、会員1,055人に合計12,874ポイントをお渡しました。今年も申請をお待ちしています!

参加会社 52社

会員数 1,055人(昨年比 +356人)

ポイント付与数 12,874ポイント(昨年比 +6,220ポイント)

※活動期間2012年1月~12月

ポイント交換数 1,849ポイント(昨年比-279ポイント)

※内訳:市民団体への寄付378ポイント、六甲山に植樹する苗木756ポイント、フェアトレード商品への交換715ポイント

六甲山への植樹本数 25本

※内訳:六甲砂防事務所への寄贈(治山計画に基づく植樹計画への提供)15本、六甲高山植物園開園80周年記念植樹10本



皆さまの社会貢献活動により、今年は25本もの植樹が実現しました。今後とも、ご申請よろしくお願いいたします!

寄付を通じて皆さまの真心を被災地へ 書き損じハガキの寄付報告

今回は、過去最高の51社113拠点で回収にご協力いただき、寄付も過去最高に達しました。ご協力ありがとうございました。

あしなが育英会への寄付 130,089円相当

(回収枚数:ハガキ2,596枚、未使用切手36枚)

東日本大震災で親を亡くしたこども達への支援に役立てられます。



時の経過とともに薄れていく「あの時」の気持ちを持ち続けていければ、そしてほんの少しでも未来あるこども達のお役に立てればと思います。
(株式会社阪急阪神ホテルズご担当 荒川芳郎さん)

vol.16 エコライフチェックシート 4コマ目のセリフ・優秀作品発表!

冬の節電に関するアイデアを公募しました。

- 愛猫を首に巻いて、愛犬を抱っこして寝てるのよ~ (ペンネーム ガンちゃん)
- 私なんか、胃にどうがらし埋めこんじゃつた♪ (ペンネーム だーつー☆)

その他、多数のご応募ありがとうございました!



編集後記

春です!「ゆめ・まち・みらい」もブリニューアルしました。これまで以上に、皆さまから愛される情報誌となるようがんばりますので、ご期待下さい。(平野 里美)

書き損じハガキ回収へのご協力ありがとうございました!!皆さまからのあたかいお心がたくさん集まりました♪これからも事務局主催プログラムへのご協力を、よろしくお願ひいたします!(大城戸 綾乃)



阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局 阪急阪神ホールディングス株式会社 人事総務部社会貢献担当

shakai@hankyu-hanshin.co.jp TEL : 06-6373-5086 FAX : 06-6373-5174

ホームページ <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>

阪急阪神 ゆめ・まち

検索





撮影:南健二

日差しの降りそそぐ「アファンの森」。誰もが深呼吸したくなるんです、とニコルさん。

世界中を旅していた作家のC.W.ニコルさんが初来日したのは約50年前。自然と共に生きる当時の日本人の姿に「豊かな森が日本人とその文化をはぐくんだ」と実感。自らも長野県黒姫の放置林を購入し、「アファンの森」と名づけ第一の故郷にし、その森で暮らしています。森から学び、森を活かす活動を続けるニコルさんに、森の力と可能性を伺いました。

日本の原風景である里山を守り育てるために

招待し、心の再生を手助けする「心の森プロジェクト」にも取り組んでいます。また、2011年の東日本大震災の後、僕達にも何かできないかと考え、被災した方々を「アファンの森」に招待する「心に木を植えるプロジェクト」を始めました。森で過ごすことでもうつつき疲れた心の回復に役立てる試みです。

2012年8月、東松島市の親子7組を森に招待しました。森の中で目を輝かせ、笑い声をあげて夢中にたつて遊ぶ子ども達。それを見ていた大人達の顔もみる見る明るくなつた。実は、東松島市では、市街地の65%が浸水。被害の大きかつた小中学校を含む町の高台移転が計画されたのですが、その候補地が暗くうつそうとした放置林だったため、将来に不安を感じていたそうです。そんな時、かつての「幽霊林」が明るくて心地良い「アファンの森」となつてこども達の笑顔をはぐくんでいる光景を見ました」と言つてくれたのです。

その後、自然と共生した町づくりが計画され、財団も「復興の森づくり」と森の学校プロジェクトに協力。僕らが今まで培つてきた「森の知恵」を活かし、こども達が自然環境と調和した木造校舎で学べる「学校づくり」を取り組んでいます。

招待し、心の再生を手助けする「心の森プロジェクト」にも取り組んでいます。また、2011年の東日本大震災の後、僕達にも何かできないかと考え、被災した方々を「アファンの森」に招待する「心に木を植えるプロジェクト」を始めました。森で過ごすことでもうつつき疲れた心の回復に役立てる試みです。

2012年8月、東松島市の親子7組を森に招待しました。森の中で目を輝かせ、笑い声をあげて夢中にたつて遊ぶ子ども達。それを見ていた大人達の顔もみる見る明るくなつた。実は、東松島市では、市街地の65%が浸水。被害の大きかつた小中学校を含む町の高台移転が計画されたのですが、その候補地が暗くうつそうとした放置林だったため、将来に不安を感じていたそうです。そんな時、かつての「幽霊林」が明るくて心地良い「アファンの森」となつてこども達の笑顔をはぐくんでいる光景を見ました」と言つてくれたのです。

その後、自然と共生した町づくりが計画され、財団も「復興の森づくり」と森の学校プロジェクトに協力。僕らが今まで培つてきた「森の知恵」を活かし、こども達が自然環境と調和した木造校舎で学べる「学校づくり」を取り組んでいます。

間違えてもいい自然から学んで何度でもやりなおす

「アファンの森」は、長野県にあります。「森」と聞いて、どんな景色を思い浮かべますか？ 暗く、うつそうとした陰気な場所だと考える人も多いでしょう。ですから、私を訪ねてくる人はみんな驚きます。いろいろな種類の木や植物が生き生きと育ち、それで見晴らしも良く、そして明るい。空気はマイナスイオンにあふれていて、体がその心地良さに反応してホッとできる場所がたくさんある。みんな「なかなか無い素敵な場所ですね」と言つてくれますが、実は特別な場所ではなく、昔の日本には、どこにでもあつたごくありふれた風景なのです。

でも、この場所も僕が初めて訪れた時は地元の人が「幽霊林」と呼んで、足を踏み入れない暗く荒れた里山でした。僕は1988年にこの森を購入。「アファンの森」と名付け、下草を払い、ツタを取り除き、森本来の姿の回復に取り組んできました。最初は日本の森の知識はなく、失敗しましたが、間違えたら自然が教えてくれるし、やり直すこともできる。そやつて人と自然の共存の道を学びました。

森を再生したいという故郷の人々の思いを、僕の第二の故郷に重ねた「アファンの森」再生活動には、多くの仲間が集まり、生物多様性や生態系回復を調査・提言する取り組みへと広がつていきました。現在は「一般財団法人C.W.ニコル・アファンの森財団」として、里山保全に関わる人材育成やエコツーリズムを学ぶ学生の実習なども行っています。

活動を通じて、豊かな森は豊かな心をはぐくむことも分かつてきました。人間が手をかければ、森は愛情で返してくれるのです。そこで10年前から様々な問題を抱えることでも達を

森の知恵を被災地の復興に役立てることで未来が見えてくる

「アファン」とは、僕の故郷である英國のウェールズにある森林公園の

ことは素晴らしいですね。愛情を持って手をかければ、日本の中の里山はどうでも「アファンの森」のようになる…多くの人々がそのことに気づき、森林再生への一步を踏み出していくと願っています。

名前です。石炭採掘のために伐採され、廃坑に伴いはげ山のまま放置されていた土地を、地元の人々が努力し緑を蘇らせました。

森を再生したいという故郷の人々の思いを、僕の第二の故郷に重ねた「アファンの森」再生活動には、多くの仲間が集まり、生物多様性や生態系回復を調査・提言する取り組みへと広がつていきました。現在は「一般財団法人C.W.ニコル・アファンの森財団」として、里山保全に関わる人材育成やエコツーリズムを学ぶ学生の実習なども行っています。

活動を通じて、豊かな森は豊かな心をはぐくむことも分かつてきました。人間が手をかければ、森は愛情で返してくれるのです。そこで10年前から様々な問題を抱えることでも達を



Profile

C.W.Nicol
C.W.ニコルさん

英国の南ウェールズ生まれ。17歳で北極地域の野生生物調査に参加し、その後も十数回にわたり北極地域を調査。さらにカナダ政府の漁業や環境保護に携わったり、エチオピアのシミエン山岳国立公園の設立に加わり公園長を務める。1962年、空手修行のため初来日。80年、長野県黒姫に居を定める。95年、日本国籍を取得。所有していた黒姫の土地を提供し、2002年「財団法人C.W.ニコル・アファンの森財団」(2011年に一般財団法人へ移行)を設立。近著に『C.W.ニコルの生きる力(ソリストの思考術)』(2011年・六耀社)がある。



一般財団法人C.W.ニコル・アファンの森財団 豊かな森の存在意義を伝え続ける

「アファンの森」は放置林を人が積極的に手を入れ27年かけて再生させた約30haの小さな森です。財団では、多様性豊かで健康的な森を蘇らせることを意図しています。生物調査や心を豊かにする活動、森林保全活動を通じて自然共生型社会づくりに寄与することを目的に取り組んでいます。

●個人サポーター 「アファン会員」として年会費を払うことで「アファンの森」の整備・調査に協力できます。

●サポート方法 年会費は1口5,000円。財団のウェブサイトから申し込み、年会費を振り込みます。1口で約50平米の荒廃した森を整備」「約20平米での植物調査」、15口で「心に木を植えるプロジェクト」にこども1人を招待する費用に当てられます。

詳しくはウェブサイトをご覧下さい。 C.W.ニコル・アファンの森財団 <http://www.afan.or.jp>



2013年度社会貢献活動リスト

自然・文化を大切にしながら地域コミュニティをはぐくむ「環境づくり」、
未来を担うこども達の健やかな成長を支援する「人づくり」。
グループ各社から約80件の「良いまちにしたい!」という思いが集まりました。

「環境づくり」に 関わる活動

「人づくり」に 関わる活動

都市交通



従業員による森林保全活動

阪急えはがきコンテスト2013

クリーンハイキング

箕面駅「もみじの足湯」入湯料金などの 箕面山麓保全活動への寄付

遺失傘販売による環境保全活動への寄付

能勢電鉄

国崎クリーンセンター啓発施設の見学会ウォーク

能勢電鉄

従業員による森林保全活動

能勢電鉄

「こども110番」活動

阪急タクシー、阪急リテールズ、阪神ステーションネット

宝塚市西谷地区における不法投棄防止および清掃活動

阪急田園バス

「アドブ・ロードとよなか庄内」の清掃活動

阪急バス

レジ袋削減運動

阪急リテールズ

ペットボトルキャップ回収によるワクチン代寄付活動

阪急リテールズ、阪神商事

山田川の自然環境保全活動

北神急行電鉄

かけがえのない
地球環境を守りたい

こども達が「生きた
体験」から社会を
学ぶように

阪急レールウェイフェスティバル

阪急電鉄ほか

沿線小学校などの工場・車庫見学

阪急電鉄、阪神電気鉄道、北神急行電鉄

「マナーアップ戦隊マナブンジャーシー」による

地球温暖化防止・マナーアップ啓発活動

阪急電鉄

交通事故遺族への募金活動

大阪空港交通、スマイル、ニッポンレンタカー・阪急、阪急観光バス、 阪急タクシー、阪急田園バス、阪急バス、阪急阪神エムテック、阪神バス

職業体験学習の受け入れ

大阪空港交通、北大阪急行電鉄、能勢電鉄、 阪急ドライビングスクール服部緑地、北神急行電鉄

北急ふれあいフェスティバル

北大阪急行電鉄

のせでんレールウェイフェスティバル

能勢電鉄

のせでんこども自然体験学習

能勢電鉄

秋の全国交通安全運動時の「交通安全フェア」

阪急ドライビングスクール服部緑地

阪急バスグループ お客様感謝Day

阪急バス、大阪空港交通、阪急観光バス、 阪急田園バス、阪急阪神エムテック

営業所での体験学習、沿線学校での「バス教室」開催

阪急バス

東日本大震災復興支援「おにぎりを食べて東北のこども達を応援しよう!」

阪急リテールズ、阪急電鉄

鉄道の日イベント

北神急行電鉄

ホ テ ル

●東日本大震災復興支援「桜プロジェクト」 阪急阪神ホテルズ

●タオル・シーツの再使用による 環境保全団体への寄付

阪急阪神ホテルズ(大阪新阪急ホテル、 新阪急ホテルアネックス、 ホテル阪急インターナショナル)

●使用済みインクカートリッジ回収運動 阪急阪神ホテルズ(吉祥寺第一ホテル)

●環境マネジメント活動(KES)に基づく ホテル周辺の美化活動 阪急阪神ホテルズ(京都新阪急ホテル)

安心で快適な
街をつくりたい



不動産

●「SDD(STOP DRUNK DRIVING PROJECT 飲酒運転防止プロジェクト)」への参画 阪急電鉄、阪神電気鉄道

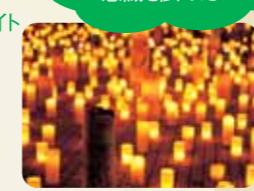
●「梅田ゆかた祭」における 打ち水イベントの実施 阪急電鉄、阪神電気鉄道

●「1000000人のキャンドルナイト @OSAKA CITY」の共催 阪神電気鉄道、阪急電鉄

●地域の美化・清掃活動 阪急仁川スポーツガーデン

●彩都棚田ファーマークラブ 阪急不動産

節電やエコロジー
意識を広めたい



1000000人のキャンドルナイト
@OSAKA CITY

エンタテインメント・ コミュニケーション

●「ケーブルテレビのお店」 周辺の地域清掃活動

ペイ・コミュニケーションズ

●「こども110番」活動

ペイ・コミュニケーションズ

●引ったくり防止カバーの寄付および無料頒布

ペイ・コミュニケーションズ

●六甲山クリーンハイキング

六甲摩耶鉄道

こども達が自然の
大切さを学ぶように



こども向け自然体験プログラム

コア事業が 連携した取組

地球温暖化を
少しでも防止したい



バイオディーゼルバス

●第4回 神戸・六甲山ツーデーウォーク 阪急電鉄、阪神電気鉄道、阪神総合レジャー

●バイオディーゼル燃料100%バス 阪急バス、阪急阪神ホテルズ、いいなダイニング、 阪急阪神エムテック、阪急不動産

そ の 他

●阪急ゆめ・まち 親子チャリティコンサート 阪急電鉄

●「キッザニア甲子園」への電車パビリオン出展 阪神電気鉄道

●絵画コンテスト「ぼくとわたしの阪神電車」実施 阪神電気鉄道

●知的障がい児など向け映画上映会 オーエス

●職業体験学習の受け入れ あしどと阪急阪神、オーエス

●STACIAカード会員からの チャリティコース応募ポイントの寄付 阪急阪神カード、阪急阪神ポイント

様々な境遇の
こども達を支えたい



スポーツを通じて
すくすく
成長できるように



小学生向けスポーツ教室

●環境保全型トイレの寄贈 阪急交通社

●従業員による東北復興支援活動 阪急交通社

●小学生向けスポーツ教室 阪急交通社



「ゆめ・まちええこと応援団」

従業員やOBの皆さまが参加されるボランティア活動を支援する「ゆめ・まちええこと応援団」。地域やこども達のためにがんばっている第1回申請活動をすり、ご報告します!



フォルテ FC /大阪府豊中市	水真南 JSC /大阪府茨木市	NPO法人 Juvenile Education Society (児童育成会) /神戸市垂水区・西宮市	常盤スポーツ少年団 /大阪府大阪市
技術向上と礼儀指導に取り組む少年サッカーチームです。	少年野球の練習と共に地域の清掃活動をはじめボランティア活動に参加しています。	こども会や地域団体の活動支援、リーダー育成を行います。	少年野球を通して強じんな身体と健全な精神をはぐくみます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 サッカー用品購入費 ● 所属会社名 阪急バス ● 申請者氏名 倉内 光一 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 試合参加費、野球用具の購入費 ● 所属会社名 阪急電鉄 ● 申請者氏名 山内 恒治 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 こども会リーダー養成キャンプの参加費 ● 所属会社名 阪急電鉄 ● 申請者氏名 田中 成明 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 野球用品の購入費、合宿・大会参加の諸経費 ● 所属会社名 北大阪急行電鉄 ● 申請者氏名 伊東 健嗣
ボランティア団体Asobo!会 /兵庫県尼崎市	ボーイスカウト日本連盟 神戸第37団 /兵庫県神戸市	樟葉男子ミニバスケットボールクラブ (樟葉KIDS) /大阪府枚方市	下坂部 ボーイズ /兵庫県尼崎市
こどもや若者が社会貢献を通じ成長する場を提供します。	ボーイスカウト教育を通して社会貢献できる人材を育てます。	小学生にバスケットの楽しさを教え、健全な心身を育てます。	少年野球を通して心身を鍛錬し健全な人間を育成します。
<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 癒しとECOの子育て応援プロジェクト運営経費 ● 所属会社名 ベイ・コミュニケーションズ ● 申請者氏名 西村 剛 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 自然教育プログラム運営費、活動備品の購入 ● 所属会社名 阪急電鉄 ● 申請者氏名 和田 等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 体育館使用料 ● 所属会社名 阪急電鉄 ● 申請者氏名 小沢 正志 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 野球用品の購入費 ● 所属会社名 阪神電気鉄道 ● 申請者氏名 山口 豊和
武庫山わんぱく会 /兵庫県宝塚市	JFCユントス(ジュニア・フットボール・クラブ) /東京都国分寺市	畠野ボイルドエッグス /京都府亀岡市	福井サン・ボーイ スポーツ少年団 /大阪府茨木市
こども達に土とふれ合い自然に目覚める農業体験を提供します。	サッカーを通してこども達を育成、大会にも積極的に参加します。	少年野球を通して仲間意識や責任感の大切さを教えます。	少年野球を通して人間形成の基礎をつくり、社会に寄与します。
<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 苗・耕作用具の購入代金、自然体験ツアーパートcipage ● 所属会社名 阪急電鉄 ● 申請者氏名 隅田 和博 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 サッカー用品購入費、グラウンド用プラン購入費 ● 所属会社名 阪急交通社 ● 申請者氏名 石井 徹 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 野球用品の購入費、大会参加費 ● 所属会社名 阪急電鉄 ● 申請者氏名 根本 孝 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 野球用品の購入費 ● 所属会社名 阪急電鉄 ● 申請者氏名 柏木 隆弘
ウッディボーイズ・ウエスト /兵庫県三田市	長岡京サッカースポーツ少年団 /京都府長岡京市	南山ダックス 少年野球部 /兵庫県神戸市	NPO法人 とよなか・歴史と文化の会 /大阪府豊中市
野球を通して健全な少年の育成と地域内の友好を図ります。	サッカーの面白さをこどもに伝えるために活動中です。	「楽しい遊び野球」が方針、少年少女の心身を育成します。	文化遺産「原田しろあと館」で講座や世代交流を行います。
<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 ボール購入費 ● 所属会社名 阪急電鉄 ● 申請者氏名 大林 大治 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 大会運営費(グラウンド代、トロフィー代など) ● 所属会社名 阪急電鉄 ● 申請者氏名 小嶋 重毅 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 練習用ボール、防球用ネット ● 所属会社名 阪急電鉄 ● 申請者氏名 天場 郁人 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 こども対象事業の備品購入 ● 所属会社名 阪急電鉄 ● 申請者氏名 中塚 寿三
尼崎ボーイズ /兵庫県尼崎市	道明寺イーストドリーム /大阪府藤井寺市	一般社団法人 ガールスカウト 兵庫県第40団 /兵庫県神戸市	千里南丘少年野球部 /大阪府豊中市
少年野球や清掃活動で心身とマナーの向上をめざします。	少年野球を通して健全なアマチュアスポーツ精神をはぐくみます。	各種体験によって少女や若い女性の成長を支援します。	「地域でこどもを育てる」という考え方のもと野球を指導します。
<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 野球用品の購入費 ● 所属会社名 阪神電気鉄道 ● 申請者氏名 玉沖 好広 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 野球用品の購入費 ● 所属会社名 阪急電鉄 ● 申請者氏名 町田 大輔 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 年間集会所使用料、野外活動行事の運営費 ● 所属会社名 阪急電鉄 ● 申請者氏名 満留 千裕 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 野球用品の購入費 ● 所属会社名 阪急電鉄 ● 申請者氏名 濱田 雄平
有岡ブレーブス /兵庫県伊丹市	特定非営利法人 ブール・ボランティア /大阪府大阪市	<p>グループ従業員・OBの皆さまがボランティアとして参加されている団体を支援する制度です。</p> <p>● 1団体あたり3万円上限(総額100万円まで、応募多数時は抽選)</p> <p>● 毎年3~5月に申請を受け付けます。団体代表と当社グループ従業員・OB連名で申請書に必要事項を記入・捺印の上、プロジェクト事務局まで、社内便または郵送で原本を提出して下さい。</p> <p>今年度の支援団体を募集中! 詳しくはwebで http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/point.html</p>	
野球を通して小学生を育てると共に多彩な社会活動も行います。	障がい者や高齢者もブルを楽しめる水泳指導を行います。	<p>5/31 まで募集中</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 野球用品の購入費 ● 所属会社名 阪急バス ● 申請者氏名 西山 哲 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援金用途 ボランティア募集告知、ボスター掲示費 ● 所属会社名 阪神電気鉄道 ● 申請者氏名 岐城 良嗣 		



まちぐるみでつくりあげるネットワーク

子ども達が「居場所」をつくるように

2000年にスタートした「おとくにパオ」は、前身となる「乙訓親と子の劇場」の期間も通算すると、30年以上続く団体です。この間、当初の舞台芸術鑑賞から、子育て支援や子ども主体の活動支援へと、活動の幅を広げてきました。今は、各種サークルやイベントを通じた学年や学校を超えた交流により、子ども達自身の居場所づくりを地域ぐるみでサポートしています。

また、長岡京市では2006年に起きた虐待事件を契機に、行政と市民団体が協力しあって「まち全体で子ども達の育ちを見守り、命を守る」取り組みが行われており、「おとくにパオ」もその一員として、子ども達が思いきり遊んだり、世代と交流する機会を提供しています。さらに、他団体と連携しながら、子育て世代を様々な形で支援することで、まちをあげてのネットワークは確実に深まり広がっています。

ちなみに「おとくにパオ」では、こどもの時に通っていたメンバーが、今では運営スタッフとして活躍中。



「自然の中で思いきり遊ぼう」を合言葉にした体験活動も

特定非営利活動法人 おとくにパオ
〒617-0826 京都府長岡京市開田4丁目1-12 西和荘 1階2号
TEL/FAX : 075-955-4366
URL <http://www.ne.jp/asahi/otokuni/pao/>

舞台鑑賞、子どもキャンプ、運動会、料理クラブ…「おとくにパオ」の活動は多種多彩。様々な体験の共有により、子ども達を核にした地域ぐるみのネットワークをつくりあげます。

行政と市民が一緒にになってつくる
子ども達がのびのび育つ環境。

阪急沿線屈指の緑豊かな景観を誇る箕面。いろいろな市民団体が、行政と協働して環境保全啓発活動を活発に行っています。

その先駆け的存在が「みのお市民まちなみ会議」です。

都市景観への理解を深める、地道な啓発活動が結実。

いまや環境保全のテーマとして当たり前に語られる都市景観。ところが、1996年の団体発足当時は「景観なんて観光地の話で、箕面には関係ないこと」という反応が大半でした。そんななかでまちの魅力を再発見してもらおうと、同団体では毎年の「まちなみパネル展」開催、年3回の会報「まちなみ通信・みのお」の発行、度々の「タウンウォッチング」実施など地道に活動を継続してきたのです。

2005年の景観法施行により、箕面市は全域を景観地区に指定。美しい景観を守る行政ガイドの施策が推進され、多くの市民団体と協働するようになります。今や住民の景観への意識も高まり、「箕面をより美しい住みよいまちに」と一体感を持つたムーブメントとなっています。

今後はさらに、景観を考える一手法として、人の視野に占める樹木などの面積の比率(緑率)という新しい指標を提言するなど、豊かなまちづくりに意欲的に取り組んでいきます。



まちを歩いて魅力を再発見する「タウンウォッチング」

みのお市民まちなみ会議
〒562-0001 箕面市箕面8-17-31
URL <http://minohmachinami.cocolog-nifty.com/blog/>

箕面の優れた景観を守り育てる 美しい風景づくりは、住みよいまちづくり

みのお市民
まちなみ会議